

## 令和4年度公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第7回）議事要旨

- 1 日 時 令和4年10月31日（月）9：30～10：20
- 2 場 所 オンライン会議（北九州市役所5階プレゼンルーム）
- 3 出席委員 井上 洋美、権頭 喜美恵、安浦 寛人、吉谷 愛  
（五十音順：敬称略）

### 4 議事内容

#### （1）第4期中期目標の報告

事務局から、第4期中期目標の市議会における承認、大学への指示について報告

#### （2）第4期中期計画（素案）に対する意見交換

ア 北九州市立大学から、資料2～資料5に基づき、中期計画（素案）について説明

イ 主な質疑・意見

（委 員）学生支援の充実の項目において、表現の見直しがなされており、また、DX人材や起業家精神等、様々な取組が中期計画に反映されている。

（委 員）DXは、元々の事業モデルを一度リセットし、新しい事業モデルを生み出すものでもあり、痛みも伴う。中期計画（素案）を修正するものではないが、中期計画を実施していく中で、改革、事業構築を進めていただきたい。

（大 学）年度計画の策定や実施において検討していきたい。

（委 員）予算の受託研究等収入は、科研費やJST等からの補助金等の外部資金を含むという理解で良いか。

（大 学）受託研究費、共同研究費、奨学給付金、受託事業、補助金等が含まれている。

（委 員）研究成果について、共同研究は大学のものだが、契約条件等にもよるものの、受託研究は日本版パイ・ドール法の精神に基づき、受託先の企業のものになる。大学の主体性という点から、記載する表現を受託研究とするかについては検討したほうが良い。

（大 学）予算の記載方法は一定のフォーマットに沿って作成しているという理解であるが、再度確認する。

（委 員）受託研究等収入の中の「その他」には、寄附金も含まれると思うが、この数値はあくまで努力目標か。寄附金や外部資金は前期計画と比べ増えているか。

（大 学）期待値も含めた記載としている。全体の金額は、前期と比較し増えている。

（委 員）大学運営が厳しくなる中で、特に寄附金は、今後の大事な収入源となる。公の機関として、資金を出しても良いと思ってもらえる大学にしていくことも重要である。